

「2012~2016 年度 JAL グループ中期経営計画ローリングプラン 2015」説明会 主な質疑応答（要旨）

◆ 国際線

Q1：来年度の RPK +5.2%を今後どのように伸ばすのでしょうか。

A1：日発業務需要の堅調な推移、海外発需要の伸びを見込んでおります。一方で単にご利用人数を示す有償旅客数が+2.4%増に留まっているのは、新規に路線開設した名古屋＝バンコク線、3月に開設予定の関西＝ロサンゼルス線等の中長距離路線にて、より多くのお客さまのご利用を想定しているためです

Q2：東京オリンピックなどもある環境の中で、訪日旅客をどのように取り込んでいくのか考えを教えてください。

A2：海外での販売を増やす、一例として台湾で JR 東日本さまと共同で旅行会社を立ち上げ、海外でキャンペーンをやっている。現在の海外からの訪日旅客の訪問は大都市が中心となっている。日本は大都市だけでなく地方にも様々な魅力があるため、色々な機関と協力して日本各地の魅力を積極的に発信していきたい。

◆ 国内線

Q3：来年度のイールドは対前年+0.3%となっているが、その背景を教えてください。

A3：今年は、昨年を実施した運賃値上げの効果が期待でき、また、JAL SKY NEXT 効果でビジネスマンの利用が増えていることが影響しています。

◆ 投資面

Q4：15年度は前年度対比で投資が増加する理由は？

A4：投資の中では航空機投資の占める割合が高く、航空機投資の大部分がドル建ての支払となるため円安影響による投資額の増加を見込んでおります。

◆ JAL ブランド

Q5：JAL ブランドを今後どのように追求していくのか。

A5：昨年 11 月にサービス・広報・CSR を含めすべてを統括するコーポレートブランド部を立ち上げました。部門横断的に統一感のあるブランド力を追求することで、「顧客満足 NO.1」という目標に向かって着実に取り組んでまいります。

以上